

【つくる会東京支部街宣活動のお知らせ】

8月15日靖國神社外宣活動のお知らせ

今年も暑い夏を象徴する8月15日がやってきます。

小泉首相が引退間際に長年の公約を実行するのかどうか世界中が注目しています。

父母を、妻子を、そして祖国を守るために従容として命を捧げられた英霊や、厳正たる法を踏みにじった戦勝国の野蛮な裁判により、無実の罪で刑場の露と消えた「いわゆる戦犯」とされた人々の御霊を祀る靖國神社に、後世の日本人が感謝の心を捧げるのは理屈など無用な当たり前の行為です。しかしながら、依然として中韓の反対に同調し、無用な理屈をつけて参拝に反対する日本人も多く、その存在は日本の恥であり「内なる敵」と言わねばなりません。

先日も「富田メモ」なるものが日経新聞で唐突に報道されましたが、それはメモの前後を伏せて如何にも先帝陛下のお言葉であったかのように思わせる謀略に満ちた報道でした。先帝陛下も戦犯の祀られた靖國神社には参拝されなかった、という筋書きをもっともらしく見せるためのトリックです。

この時期にこのような謀略が行われた理由は、靖國参拝を当然と考える安倍官房長官を次期首相の候補から追い落とすとともに、いわゆる戦犯と言われる人達の御霊を靖國神社から分祀させることで中韓、特に中国におもねり、日本を中国の属国にするためでしょう。目的達成のためには手段を選ばず天皇陛下をも政治に利用する者達の存在は絶対に許してはならないことであり、そのような者達が政治の中枢に存在することの恐ろしさを、私たちはあらためて思い知らねばなりません。

靖國神社におわす280万の英霊にとっても、この者達は許し難くやりきれない子孫ではないでしょうか。

「つくる会」東京支部は昨年に続き今年も8月15日に靖國神社にて外宣活動を行います。小泉首相の当日の参拝を祈念しながら、靖國参拝に反対する愚か者達を弾劾するためにも今年は気を入れて頑張りたいと思います。どうか、多くの会員の皆様をご参集下さいますようお願い申し上げます。

平成18年8月7日

記

外宣日時：8月15日（火曜日）午前11時半、九段坂下寄り大鳥居前集合

外宣方法：ピラまき

外先場所：大鳥居前歩道と中通り歩道

外宣段取：11時半に大鳥居前に集合し12時の黙禱に参加します。

黙禱の後、各自又は全員で昼食を取り、配布場所2カ所で1時から5時までピラ配りをいたします。

「つくる会」東京支部支部長島崎隆
外宣担当副支部長石原隆夫